

# HOPES

ホープス セカンド

2nd

## ふるさとへの想いをこめて

いいたて学 ホストタウンプロジェクト

ものづくり班の皆さん（いいたて希望の里学園）



「いいたて学」は、「いいたて希望の里学園」にしかない新しい教科。児童生徒がふるさとについて学びを深め、発信活動も行っています。後期課程の生徒達は、この「いいたて学」の中で、ホストタウンプロジェクトを展開しています。その多彩な活動の一つとして、村のよさを

メンバーのうち4人が吉川武彦校長と共に村役場を訪れ、杉岡村長と遠藤教育長に、制作した詩集、トランプを手渡し、作品にこめた思いなどを伝えました。

ホストタウンの相手国ラオスの皆さんも読めるようラオ語の翻訳も添えた詩集。全世帯に配付されました。詩に宿るさまざまな思いに触れてみてください。



ネーミングもキャッチーな #映えないいいたてトランプ。



伝える詩集とトランプを制作したのは、「ものづくり班」のメンバーです。詩集「希望の詩」は、村民から募った詩に、こども園の園児や学園1年生のイラストを添えた1冊。生徒が編集し、表紙は村出身の漫画家・国広あづささんが描いています。一方、「#映えないいいたてトランプ」は、飯館村の「個性」を世界の人々に知ってもらいたい」と制作。ユーモアたっぷりふるさとを紹介した素敵なトランプです。♠のカードが「伝統文化」、♥が「食文化」、♦が「名所・建物」、♣が「自然」を紹介しています。詩集の編集を行った巻野陽菜さんは、「飯館を知る方々の言葉から飯館への思いの深さ」を、綴られた文字から『温かさと優しさ』を感じました」と話していました。

### 〈編集後記〉

●あの日から10年。大変なこと、辛いこともあったけれど、たくさんの人たちに助けられてきました。苦労しているとき、家族や友人などから届く「大丈夫？」のメッセージに何度助けられたことか。これからも色々あるでしょうが、経験値を積んでレベルアップしているはず。誰かを助けられる人を目指して。(木幡)

●このひと月、震災以降の記録を見返す機会が多くありました。すべて地続きで、忘れようもないことばかりなのに、久しぶりに触れる記憶がたくさんあって…。本当に10年が経ったのだと実感しました。どの場面もどの出会いも大事に覚えていようと思います。今日の空の青さと一緒に。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。